

姫路市「コロナ克服、原油価格・物価高騰等総合緊急対策」
〔令和4年9月21日改定〕

新型コロナウイルス感染症による市民生活や経済への影響は依然として続いている。また、ウクライナ情勢をめぐる先行きの不確実性から、原油や穀物等の国際価格は高い水準で推移している。

市民の3つのLIFE、「命」「一生」「暮らし」を守り、支えることを基本とし、市民生活・地域経済の安定に向け、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種をはじめとした感染防止対策とともに、原油価格や物価高騰の影響による市民や事業者の負担を軽減するため「コロナ克服、原油価格・物価高騰等総合緊急対策」を実施する。

第1弾

コロナ克服、原油価格・物価高騰等総合緊急対策
(6月補正)

R4.5.24本部決定 [6,050,010千円]

4回目のワクチン接種をはじめとした感染拡大防止対策や、原油価格や物価高騰の影響による市民や事業者の負担を軽減するため、緊急かつ機動的な施策を実施

市民の「命」を守るために

[1,383,800千円]

- ▶ 新型コロナウイルスワクチンの4回目接種
対象：3回目接種後5ヶ月以上経過した、
60歳以上の市民及び基礎疾患等を有するなど重症化リスクが高い18歳以上の市民
- ▶ PCR検査費用の公費助成
- ▶ 新型コロナウイルス感染者情報の電子化等感染症業務のDX対応

市民の「一生」に寄り添うために

[3,371,200千円]

- ▶ 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給拡大等（1世帯当たり10万円）
対象：令和4年度に新たに住民税均等割が非課税となった世帯等
- ▶ 子育て世帯生活支援特別給付金の支給（低所得の子育て世帯の子ども1人当たり5万円）
- ▶ 子育て応援臨時給付金の支給（18歳以下の子ども1人当たり1万円）
- ▶ 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請期限を令和4年8月末まで延長
- ▶ 学校給食への地元産食材の提供

市民の「暮らし」を元気にするために

[1,295,010千円]

- ▶ 原油価格・物価高騰に対応するための中小法人・個人事業主・飲食店向け支援金の給付
上乗せ：姫路市中小企業等一時支援金【令和4年2月補正】（法人20万円、個人・飲食店10万円）の
給付対象事業者に5万円上乗せ
新規：国の事業復活支援金（売上高減少率30%以上）の給付対象事業者に法人25万円、
個人15万円を給付
※姫路市中小企業等一時支援金の給付対象事業者を除く
- ▶ 原油価格・物価高騰に対応するための地域公共交通事業者への助成
- ▶ ポイントシール事業等による商店街活性化
- ▶ 地域クーポン付姫路城入城券の販売
姫路城入城料程度の地域クーポンをセット販売
- ▶ 宿泊施設におけるデユースプランの利用促進
宿泊事業者にデユースプラン利用料の1/2を助成（上限1件当たり2千円）

オミクロン株対応ワクチン接種等による感染拡大防止対策に加え、物価高騰の影響を受ける市民や事業者を支援するため、切れ目なく総合的な施策を実施

市民の「命」を守るために

[1,806,500千円]

- ▶ 新型コロナウイルスワクチンの4回目接種の対象拡大
対象：3回目接種後5ヶ月以上経過した、
医療機関・高齢者施設等に従事している18歳以上の市民
- ▶ 新型コロナウイルス患者の入院医療費の公費助成
- ▶ 新型コロナウイルスのオミクロン株対応ワクチンの接種
対象：初回接種(2回目接種)後、前回接種から5ヶ月以上経過した12歳以上の市民
- ▶ インフルエンザワクチン接種補助
対象：新型コロナウイルスに関する行政検査を行う医療機関に勤務し、業務として患者と接する職員

市民の「一生」に寄り添うために

[4,278,000千円]

- ▶ 住民税非課税世帯等に対する緊急支援給付金の支給（1世帯当たり5万円）
- ▶ 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金
及び住居確保給付金特例措置（再支給など）の申請期限を令和4年12月末まで延長
- ▶ 物価高騰の影響を受ける公立小中学校、公立保育所等の給食用食材費を支援
- ▶ 私立保育施設、高齢者施設、障害者施設等に対し、光熱費や食材費等の物価高騰対策として支援金を給付

市民の「暮らし」を元気にするために

[2,841,000千円]

- ▶ 原油価格・物価高騰に対応するための中小企業・個人事業主向け支援金の給付
(法人20万円、個人10万円)
- ▶ 姫路・播磨を巡る観光ツアーの企画・運営
- ▶ 市内宿泊施設への宿泊費割引キャンペーンの実施